

通学路対策要望箇所図(天応地区)

R4-3: 停止線があるが運転手から見えにくい。また、直進でスピードを上げやすく、道幅も狭い。



(対策方法)
30キロ規制の路面標示の再塗装、
外側線の塗装

26-40: 車の離合時に、児童と車両の接触の危険性がある



(対策方法)
安全指導と見守りに対応

R3-4: 道幅が狭く、外側線がないため、自動車と接触する可能性がある



(対策方法)
外側線の塗装

26-24: 側溝に蓋が無いため危険



(対策方法)
側溝にグレーチングを設置

28-16: 横断歩道手前でスピードを出す車両があり危険



(対策方法)
安全指導に対応

27-8: 海に転落の危険性がある



(対策方法)
転落防止柵の設置

27-9: 歩道に水が溜まる



(対策方法)
海水の逆流防止弁を設置

27-7: 道幅が狭いため車両と接触の危険性がある



(対策方法)
注意喚起の路面標示、外側線

26-23: 歩道が狭いため危険



(対策方法)
注意喚起の標示と児童への安全指導に対応

26-25: 側溝に蓋が無いため危険



(対策方法)
グレーチング部加工改良等

26-26: ガードパイプの間隔が広く転落の危険性がある



(対策方法)
既存のガードパイプを加工

